

会議名称：令和4年7月度期古賀市社会教育委員の会議

日時：令和4年7月26日（火） 18時30分～19時40分

場所：リーパスプラザこが交流館 103洋室

主な議題：社会教育関係団体に対する補助金に対する説明

第3次生涯学習基本計画策定に係る市民アンケートについて

第7回笑顔のつどい振り返り

傍聴者数：0名

出席者：井浦議長、國友委員、村山委員、秋山委員、丸井委員、堺委員（以上委員6名）

欠席者：角森副議長、橋爪委員、光永委員

事務局：生涯学習推進課 樋口生涯学習課長、村上参事補佐、小嶋、平川

配布資料：レジュメ、社会教育関係団体に対する補助金一覧（令和4年度分）、補助金要綱、

市民アンケートについて、市民アンケート（案）、第7回笑顔のつどい振り返り、

第7回笑顔のつどいアンケート結果

会議内容：以下のとおり

事務局

では7月度会議を開始いたします。議長お願いします。

井浦議長

6月に開催しました笑顔のつどい、本当にありがとうございました。秋山委員が総合司会で、今日欠席ですけども、横田部長にも話していただいて、コーディネーターは橋爪先生にしっかりしていただいてですね、時間いっぱい講演することができました。本当にありがとうございました。ということで秋山委員、来年も何かやりましょうか。ぜひ経験を活かしてください。

私の方は7月7日の日に社会教育員の新任者研修というのがありまして、そこで古賀市の実践発表してくれという依頼が来ましたので、させていただきました。県の社会教育関係の職員とか、他の自治体の職員の方々から、古賀市の日々の取り組みはすごいねと感嘆の声をいただきました。皆様の取り組みが紹介できて良かったなと思います。

また、昨日、県の社会教育委員連絡協議会の評議委員会というのがありまして、その中で「コロナ禍が続く中で、改めて学びを止めない」というような発言がありました。県としても、可能な限り広い会場を抑えながら、対面での研修や大会を開催したいということです。去年は中止や紙面開催になった関係で予算が少し残っていて、それをどう使うかというのと、今年は広い会場を確保する会場費にできるだけ当てて、対面形式でやりたいという提案があって、これが承認されております。

県の研修会は、まだ会場未定のところがありますが、広い会場で行われる通知がくるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

そのような中、コロナは第 7 波ということです。学校の方は夏休みになりましたけれども、休み前に学級閉鎖や学年閉鎖になったというような話も聞きました。先生も大変だったんじゃないかなと思います。夏休みに入ったことで、今度は児童館とか学童保育とかでの広がりがないように、感染対策はしっかりとっていただいておりますけれども、子供たちに広がらないことを願うばかりです。

22 日には福岡コロナ特別警報っていうのが出されておりますので、早く収束していかないと願っております。

本日は、3つの協議事項があります。人数も少なくコロナ禍でもありますので、できるだけ短時間で終了したいと思いますので、忌憚ない意見をよろしくお願いいたします。

事務局

では、協議事項に移らせていただきます。

井浦議長

最初が社会関係団体に対する補助金ですね。

事務局

社会教育委員の職務として、社会や教育委員会の諮問に応じ、意見を述べることとなっております。今回、社会教育団体にあてた補助金についてご意見をいただきたいと思っております。5つありますが、今回は生涯学習推進課の管轄である PTCA 連合会補助金、スポーツ大会参加出場奨励補助金の2種類を説明させていただきまして、次回、青少年育成課の担当者から、残り3つの補助金について詳しく説明させていただきたいと思っております。また、5つの補助金の要綱もお渡ししております。

最終的に、「令和3年度社会教育関係団体に対する補助金交付に関する意見について」、これは去年のものになりますが、こういった形で改めて意見をいただくような流れになります。

予算が確定する都合上、いただいた意見は令和5年度の方で反映していきたいと思っております。

社会教育法に基づいて、社会関係団体に関する補助金がある場合は、社会教育委員の会議からの意見を徴さなければならないというような形になっています。その意見を徴したものをいつの年度の補助金に反映させるのかというと、令和4年度分はもう既に予算の執行が確定したことになります。ですので、令和4年度分の補助金一覧をたたき台にして、令和5年度の予算を編成するときに、こういうところに気をつけてくださいよとか、この補助金はもういらぬんじゃないか、もしくはこういう補助金がいるのではないか、というご意見を頂戴できればという趣旨でございます。よろしくお願いいたします。

では PTCA 連合会補助金について。この補助金の目的は古賀市の小中学校 PTVCA 連合会の

連携を深め、学校、地域、家庭における児童生徒の健全育成に寄与することを目的としております。

補助金の対象となる事業は3つ。講演会事業、広報事業、研修事業で補助対象は古賀小中学校 PTCA 連合会、今年の予算額は30万円になります。昨年はPTCA連合会に対して5万6000円補助しておりまして、補助内容としては「みんなの人権セミナー」。謝礼などの報償費、消耗品や印刷製本などの需用費、通信運搬費など役務費、施設備品などの使用料及び賃借料、を補助しております。

続いて、スポーツ大会補助金についてあの説明させていただきます。5つ目、1番下になります。

スポーツ大会出場奨励補助金は大会の出場を促し、選手の技術を高めるとともに、スポーツ活動の支援及び活性化を図り、もって、古賀市のスポーツ振興に寄与することを目的としております。

大会の補助対象となる事項については、国、地方公共団体、公益法人等が主催、共催、または後援するスポーツの全国または国際大会であること。ただし、古賀市市立中学校部活動大会参加補助金の交付対象となる場合や、そのほか市が行う補助対象事業の交付対象となる場合は除きます。大会は地方予選を経て、出場資格を取得した大会、または競技成績にそのほか明確かつ厳正な基準のもとに推薦され、出場する大会であること。補助対象となる社会教育関係団体は個人の場合は1から3をすべて満たすもの。①古賀市内に住所を有し、かつ生活の拠点があること②大会要項等に定められた登録選手③事業に規定する団体の構成員として大会に出場するものでないこと。団体は団体の拠点があり半数が古賀市内住所を有し生活の拠点があること。以下個人と同じです。

予算については令和4年度80万円。令和3年度の支出額としては、市内活動団体及び個人が個人3人団体7件で、合計62万円を支給しております。対象額は全国大会については、個人が1万円、団体が10万円、国際大会の場合、個人3万円団体30万円が上限となります。

以上2点につきまして、ご意見ある場合は、どちらの補助金のご意見というような形でいただければと思います。

井浦議長

今回は5団体のうちの生涯学習推進課関係の2つのについての協議になります。

説明が終わりましたので、ご意見のある方お願いいたします

國友委員

これR3年の支出額と今年度の予算額載っていますが、R3年の予算額も本年度と同額？

事務局

そうです。

國友委員

で、やっぱりコロナ関係で実際の活動できたところが少なかったから。

スポーツ大会の方はそこそこやれたけど、PTCA としての、先ほど人権セミナーの話が出ましたけど、講演会みたいなのができなかつた。

事務局

PTCA の場合は、様子を見ながらみたいな感じのところもあったようです。スポーツ大会の方もいくつかの競技で、コロナ禍での中止や次年度に持ち越しになっている大会もあります。

PTCA の補助金は上限を 30 万円として、執行した額の 2 分の 1 を補助しています。昨年、組織や活動が持続可能となるように適切に指導することになりましたので、PTCA 連合会の会議には、職員が出席して、地域特性に合わせた講習会、研修会等に利用されてもいいんですよ、という風な指導をいたしました。が、なかなか思うように活動はできなかつたという実情があります。それで、補助額も最終的には 5 万 6000 円にとどまりました。

スポーツ大会出場、奨励補助金の方はちょっと様子が違いまして、これは 80 万円が上限ですけれども、あくまで成績次第ということですので、80 万円をあの使い切るような性質のものではございません。その年度で上位の成績を収めたものがいなければ、執行額が 0 になることもありますし、すごく成績がいい年があれば、80 万円を使い切ってしまうというような年もございます。それで令和 3 年度は結果的に 62 万円の支出があったという、そういうご理解をいただければ。

井浦議長

みんなの人権セミナーは、人権センターとの連携ですよ。

事務局

はい、そうですね。

井浦議長

他にありませんか。

秋山委員

スポーツ大会奨励補助金は、大会が終了した 14 日以内に実績報告書の提出の記載があるんですけども、PTCA にはないのでしょうか。

事務局。

PTAC は年間を通じて、活動計画書と実績報告書を出してもらいます。スポーツは個人の成績によるので、大会ごとに完結して書類の提出が必要になります。

井浦議長

大会参加者というのは市役所に横断幕が出てる人たちですか。

事務局

そうですね。ただ他にも例えばグランドゴルフなどあまり掲示していないスポーツ団体もあります。

井浦議長

今回は PTCA とスポーツ団体ですけど、コロナ禍において集まりが難しい状況があった中、予算組みは準備をさせていただいております。

先ほど話がありましたように、学校単位でも活用できるということですので、活用できたらいいですね。

じゃあ、この2つの方についてはよろしいでしょうか。

國友委員

例えば PTCA でもっと頑張りなさいって令和5年度の補助金を上げる方向にとか、そういうことも考えられないことはない？

事務局

はい。

井浦議長

やっぱ減ってるんですかね、子供会育成会。

國友委員

今、市子連に名前を残してるのは二校に。

井浦議長。

本当ですか。次回質問も色々出るかもしれないですね。

では、この件はよろしいでしょうか。

続きまして、市民アンケートについてよろしくお願いします。

事務局

では、「市民アンケートについて」という紙をお願いします。

生涯学習計画は10年ごとに策定されており、2014年から2023年は第2次古賀市生涯学習基本計画に沿って活動を行っております。

今回、2024年から開始される第3次古賀市生涯学習基本計画策定のために、市民アンケートを行い、結果を計画に盛り込む予定となっております。

市民の生涯学習に対する認識、市や関係機関へのニーズなどを調査し、より市民に密着した計画を策定するため、推進委員の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

スケジュールといたしましては、今回7月に趣旨を説明させていただきます。「生涯学習に関するアンケート」の冊子、これが1番最初のたたき台となっております。これを基に追加してもらう、またはいらないというのを出していただきながら、作っていききたいと思います。

次に8月の会議までにメールでこのたたき台に対する意見をいただきまして、それをまとめて、8月会議に本格的な協議をいただくようになります。スポーツ振興係の方でも市民アンケートをやっていますので、参考に見ていただいたりとかもしたいなと思っております。

9月会議では最終的な確認をしまして、10月には市民の方にお配りしていくようになります。11月12月の会議の間は集計しまして、1月と3月の回答の分析をしていながら4月からの第3次基本計画策定会議に分析した結果を提出していく予定になります。

市民アンケートで行いたいこととしては、①市の生涯学習事業に対する認知度を調査。第2次生涯学習基本計画に記載された事業を中心に聞いていきます。まちづくり推進課や青少年育成課管轄の地域・コミュニティやつながり広場なども含まれますので、各課とも調整して行い、市の事業の周知や利用に繋がりたいと思っております。すでに利用されている方については、毎回アンケート等を取っているのですが、利用者の満足度ではなくて、全体の把握を行っていききたいと思います。

②生涯学習活動を行う人への調査。今後の活動の促進、支援の方向性を探り、また、始めたきっかけ作りなどを知ることで、さらなる活動へと繋がりたいと思っております。

③は、生涯学習活動を行っていない人への調査。潜在的なニーズの調査、今後活動を行うように働きかけを行う際の方法を探っていきます。

第3次生涯学習基本計画は令和6年度の4月1日から開始します。ですので、今年は準備の準備段階という位置付けになります。

令和5年度が本格的な生涯学習基本計画の策定で、それを作るために市民の実態を把握する必要があるのではないかと、市民アンケート調査とその分析をしていきます。

本来は、市民アンケートはできるだけ内容の項目を変えずに、ずっと使い続ける方が望ましいです。例えばこの何年後には意識はこう変わった、こういうニーズは、こういうふうに満たされていたといった追跡調査ができるんですけど、第2次基本計画の時までは調査

は行いませんでしたので、今回が第 1 回の生涯学習基本計画のための市民意識調査アンケートになります。

ただ、0 からだと分かりにくいかと思いますので、日本国内でよくある、生涯学習基本計画に使っているような指標を古賀市用にアレンジしたものを、皆様のお手元に配布しております。また、このアンケート項目は、何のための質問かイメージしやすいように、横に吹き出しで意図を記載しております。

ですので、一見するとさっと納得してしまうかもしれませんが、できれば、ご自分でそのアンケート回答していただいて、この項目答えにくいとか、何のために聞かれているのかわからないとか、もしくは、自分だったらこういう項目を聞いてみたい、継続して聞いてみたい、そういう観点からご意見をいただければありがたいという風に考えております。

今回このアンケートを一旦持ち帰っていただきまして、右側に空白を作っていますので、気になったことなんかを書き込んでいただいて、そのまま写真に撮ったものやメールに意見や質問を送っていただきます。出していただいたものはこちらで 1 度集計いたしまして、質問に関しては早めにお答えして、次の会議では皆様からいただいた意見で議論いただきたいと思っております。8 月会議が終わったら、改めて事務局の方で作り直して、皆様にもう 1 度お送りして、更に意見いただきまして、最終的に 9 月の会議の時は、ほぼ出来上がった状態で、最終意見をもらうような流れにしたいと思っております。

会議外のところでの作業が多くなってしまいます。本来なら、何回か集ってやりたいところではあるのですが、コロナ禍では厳しいところがあるので、メールを中心にご意見をいただけたらと思います。

國友委員

ランダムにこのアンケートを送るとなると、たまたま色々参加された方からの回答もあれば、全く参加してない方もおられるかと思いますが。

事務局

はい。アンケートは最初に「あなた自身のことを教えてください」次に「あなたが知っていることを教えてください」となっており、この辺は全体に関する質問になりまして、次から生涯学習活動を行っているかの設問があり、実際にやっている人への質問と、やってない人への質問という形で分けて作っております。

今回 1800 人の市民に無作為抽出でアンケートを送付しますが、例えば全て 75 歳以上になってもいけませんので、年齢や地域はできるだけ幅広くなるようにはいたします。しかしすでに生涯学習活動を行っている人、いない人は偏る可能性もあります。

生涯学習活動を行っていて、もっと行いたい人。もういいかなと思ってる人。生涯学習活動を行っていない人で、本当はやりたい人。今は興味ないと思う人と大きく 4 つに分ける

ことができると思いますので、その中で傾向を持っていて、どう働きかけをすれば生涯学習活動を発展させることができるというようなところを、生涯学習基本計画の方に盛り込んでいきたいと思います。

ですので、例えば、ここの設問偏りすぎているとか、もう少し掘り下げるべきじゃないとか、そんなご意見をいただけたらと思います。

簡単な例として、設問の2番（性別の質問）ですけれども、今の時代にこれ聞くかというご意見もあると思います。ただ、生涯学習活動に関して言えば、20代から50代の男性の参加率ってものすごく低いんですよ。これは、性差が如実に現れてくるところなので、これはあえて今聞く設問になります。

こういうご意見分かれそうなところや、積極的にここ聞いた方がいいなどのご意見があると、アンケートに深みが出ると思われまので、ぜひ思いついたことを色々とそのペーパーに書き込んでいただきたいと思います。

井浦議長

第2次計画の作成前にはアンケートをとっていないということですが、他のアンケートで類似の項目とかはないですか。10年前で対比できたら。例えばリーパスカレッジが始まった頃に取りられたりとかは。

事務局

10年というと交流館ができる前になります。古賀中学校の旧校舎をそのまま使った研修棟がありまして。昔の話のようですけど、10年前はまだその段階で、第2次基本計画の大きな目標というのは、とにかく生涯学習活動の拠点を作ろうと、生涯学習活動をこれからもっと発信していくんだという立場が、第2次基本計画、今現在の基本計画になっております。ですので、その時期と比べると、なかなか困難なところはございます。

ただ、活用できるデータっていうのは、活用した方がいいと思いますので、生涯基本計画に限らず、例えば経営戦略課が取っているデータが転用できないかどうか積極的に考えていきたいですね。

また、全国的によくあるようなアンケートがあれば、例えば、生涯学習に興味がある人は、全国平均だと何パーセントぐらいだけど、古賀市ではそれより上とか、全国比較をすることができると思いますので、その辺も意識していきたいですが、あの事務局の方でも、事例の収集が進んでないところもありますので、こういうものを見つけた等あれば事務局から提案していきます。

井浦議長

反対に議員の皆さんの方で、今までのかかわりの中でこんなデータがあったなどあれば教えていただければ。社会教育総合センターのデータの中にも結構生涯関係の調査も入っ

ていますよね。

國友委員

本日欠席の3名の方にも説明して、意見もらえるようにしないと。

事務局

そうですね、できるだけ直接お話できるような形でお伝えしたいと思います。

村山委員

リーパスカレッジに参加したら必ずアンケート書くんですけど、書きにくいところとか合わないかなと思うこともあるので、市民アンケートも見ていきたいと思います。

村山委員

国政調査みたいに、郵送で回答いただくんですか。

事務局

回収は郵送と、直接スマートフォンから回答できる方法、2つ準備する予定です。表紙の部分にQRコードを貼る予定です。早めにページをお作りして、皆様にもどう入力するか見ていただきたいなと思っております。

目標としては、回答し終わるまでが10分、目標の回収率は30パーセントから40パーセントです。1800人ですから、600ぐらいの回答があれば、サンプル数としては十分と思います。統計学的には200以上のサンプルがあれば期待値としては十分ですけど、地域や年齢層を考えると、やはり3、40パーセント、600程度のサンプルは欲しいところで、郵送というポストに行くハードルが高いやり方よりは、QRコードからスマートフォンで回答だと非常に入力も簡単ですので、組み合わせてやっていきたいです

秋山委員

これ回答した方の統計を取れるんですか。30代でQRコードで回答した人は何人だったとか。

事務局

取れます。何時ぐらいに回答されたかといったところまで、ログが取れます。

それから、1800人という数ですが、一見中途半端な数字に見えますけども、あと200は市内の事業所に対して取ろうと思っております、事業所に対して取るアンケートの内容は、市民アンケートをたたき台にして、事務局の方で作成いたしますが、個人に聞くのと少し聞き方が変わってきます。経営者の方に、御社の社員に対する生涯学習をどう考えてらっしゃ

いますかという、そういう聞き方になってきます。

井浦議長

アンケートについては以上ですね。次、笑顔のつどい振り返りについてお願いします。

事務局

6月12日の笑顔のつどいから1ヶ月過ぎましたので、振り返りをしていきたいと思えます。事前にいただきました國友委員、堺委員、村山委員、秋山委員の振り返りについてはお手元にプリントしております。これを基にして振り返っていただけたらと思えます。

それからアンケートの結果については事前にメールでお送りしていましたが、今回改めて印刷してお渡ししていますので参考にしてください。

井浦議長

マイクのことにはアンケートでちょっとマイナスな発言関係が出ていました。けれども、基本的には参加していただける方があれだけいて、ピンポイントに周知して、司会進行もいい流れでできたんじゃないかなと思っております。

フロアの方からも地域で活動することの難しさを投げかけられた方もいらっしゃる、市の職員の方も参加されてましたので、そちらの方からも回答いただいて、深みがあったのではないかなと思えます。

事務局

よろしければ委員の皆様から一言いただけたらと思えます。実施時期についてとか、テーマなど。次回の第8回笑顔のつどいの企画を練る時に、再度振り返りは行うかと思えますが、実施時期については、いつから第8回の準備をするか、スケジュールにも関わってきますのでお願いいたします。

國友委員

過去のつどいを見ると、開催時期は結構ばらついてたんです。第5回、6回は9月にして、前年度も元々秋だったのが今回6月の開催。

後半期、9月、10月、11月あたりにまた戻すっていう手もありますけど、いろんな行事がない時の方が集まってもらえるかも。6月にやるなら1年後になりますから、今から準備すれば十分間に合うかと。その辺は協議をして。

テーマについては、またコロナのっていうわけにはいかんでしょうから、ちょっと難しいかと思えます。

堺委員

初めて参加しましたが、6月のこの時期よかったかなと思います。9月は学校も色々行事が入ってきますが、6月はちょうど運動会終わった時期ですので、小中学校も参加がしやすいと思います。

村山委員

笑顔のつどい終わりました時に、隣の光永委員がよかったって言われて、私も充実感を感じました。しかしながら、年をとって全部覚えられないのが残念です。

どなたかが資料がもっとあったら、よかったのについて書いてあったみたいですけど、そこまでいなくても意欲が高まったんじゃないかなと思います。

それから、これから活動するというような心構えで、おいでになった方も結構おられたと思うんですよ。年の後半でこういうお話を聞くより、前半の方が「よし」という気持ちになれるんじゃないかとも思います。実施するにあたって早い時期というのはきついかも知れませんが、これから活動する方のエネルギーになるよう、時期が早い方がいいのではないかなと思いました。

秋山委員

やっぱりどの時期にしても、一長一短あると思います。6月の時期だと、イベントが少ない分、天候の心配が多い。11月だと天候は参加しやすいがイベントが多いところ、それぞれメリットデメリットがあるので、選択肢を増やすという意味で、その時期の開催も視野に入れてもいいんじゃないかなと思います。

丸井委員

村山委員と同じで、内容にはよるが早い時期の開催だと地域の活動のヒントとして生かしやすいので、6月の開催もいいと思いました。

井浦委員

秋開催は11月のふくおか教育月間合わせて行事できないかというのがきっかけだったけれど、教育長と話した際に、合わせなくてもいいと言っていたので、11月に寄せる必要はないのかなと私も思っております。

学校行事としても、6月のこの時期にしてもいいのかなと。ただ、テーマによると思うんですよね。古賀市の笑顔のつどいは著名人を呼んで人を集めるんじゃなくて、地域で活動している人たちの発表をするんだということが、スタート地点でした。

それを考えると、今回登壇者が区長であり、市民活動の人であり、学校であり、そこに絞って関係者を集めてできていますので、テーマが決まれば、ターゲットを絞った開催でもいいのかなと。

次は学校のPTCAとか、あるいは市民アンケートのこともあるので、難しい年代の人たち

にどうにかして来てもらうようにしようとか、以前のように子育て世代の人に来てもらうようにとか。広く広報するより、人数は少なくともターゲットがはっきり出たようなテーマでもいいのかなと思います。

また、今日、欠席の委員の皆さんの意見も聞きながら最終的に調整ができれば。

事務局

つどいのアンケートの方に、今回の参加者の取り扱ってほしいテーマの回答もあります。今回来ていただいたのが地域の方が多いので、地域のことが聞きたいっていうのもあるかと思うんですけど、非常に地域のニーズが強いので、こちらもご参考にさせていただきながら、次の会議の時お話しできたらと思います。

井浦議長

今日欠席の方は、振り返りは出されましたか。

事務局

今日欠席の皆さんは事前に出していただいてなかったので、この会議で発言していただくと思ってたんですけど、改めてもう 1 回お送りしてご意見を集め、皆様に共有した上で、次の会議の時は第 8 回をどうするかたたき台を少しずつ作っていったらと思います。

井浦議長

市民アンケートのこともあるので、時間配分考えて柱 2 本立てで、来年に向けての話をしていきたいと思います。

では協議の方は終了します。

事務局

國友委員から情報いただいております。ちいさかーさです。

國友

庄北区と庄南区公民館で小学生を集めて、今秋から寺子屋みたいなのが行われてます。午前中は宿題、お昼ご飯をちょっと振る舞って、遊んで帰る。勉強と触れ合いとストレス発散、という事業を始めて 2 年ぐらいになります。

夏休み、冬休みと定例的にやっているんですが、今の感染爆発を受けて、今週・来週は食事は見送るということになりました。なので、2 週間は黙って宿題しましょうって形になります。9 日以降は、あと状況によりということで。昔はイベントもやっていましたが、今は大々的じゃなくても動いているということで紹介でした。

事務局

國友委員ありがとうございます。

事務局から2点お知らせです。今、リーパスプラザで新たな整備計画があります。整備計画と言っても、何か新しいものを作るのではなく、中央公民館にあります大ホールを市民ホール・文化ホールにしようと計画をしております。

市民ホール・文化ホール化で何ができるようになるかと言うと、古典芸能の歌舞伎や、落語の寄せだとかあるいはコンサートだとか、いわゆる興業、営利目的の行為ができるようになります。利用料は相応いただく形にはなりますが、古賀市の身近なところに、本物の文化芸術が来るという環境を整えていきたいと考えております。それに向けて、どういう企画運営をする会社が協力してくれるか、どういうふう採算をとっていくか、そういったものを検討するためのコンサルタント会社を決めるプロポーサルを行いました。

8月の下旬に契約、9月から業務開始となります。社会教育委員の皆さんにも、コンサルタント業者と私どもがどういう未来像をリーパスプラザで作っていくかという話を聞く機会を作るつもりですので、その際はぜひよろしく申し上げます。

もう1点目は、九州ブロック大会が10月6・7日（木・金）でございます。先着5名様の手配を確保しております。今年は大分県です。どなたが行くかに関しては、議長に一任しようと思っておりますので、議長よろしく申し上げます。

宿の手配、交通手段の手配を考えると、次回の8月の会議ではメンバーを確定させたいと思っております。九州地区の事例を学ぶ良い機会です。率先してご参加いただければと思います。

平日の木・金ですので、参加の難しい方もいらっしゃるかと思いますが、ご参加できるメンバーで参りたいと思っております。

井浦議長

是非、今日欠席されている方にも周知してください。

國友委員

私の経験から言わせてもらおうと、あらかじめ用事があると職場等に周知していれば、それを前提にした仕事の組み立てだったり、周りの協力は得られるかと思うので、ぜひ皆さん行っていい経験を積んでほしいなと思います。

事務協

では次回の会議の日程決めを行います。

(日程決定)

井浦議長

次回 8 月 24 日水曜日、時間は 18 時半からということでよろしく願いいたします。

事務局

お盆前くらいには協議事項の 2 で行いました市民アンケートについてのご意見の第一陣を伺おうと思います。それを盆中に私どもの方で整理して、24 日には、皆さんのご意見が反映されたものをご提示できるよう準備してまいります。詳細は平川からメールで周知をさせていただきますのでご協力をよろしく願いします。

最後、終わりの言葉を井浦議長お願いします。

井浦議長

本日は人数は少なかったですけど、中身ある話ができただのではないかなと思います。

今日は古賀駅で大きな事故が起きているようで、列車が遅れてるそうですね。

では、ありがとうございました。